

# 出前授業一覧

鹿児島医療技術専門学校

職種	テーマ番号	テーマ	内 容	形式	必要時間(分)
6職種	1	医療系 6職種 総合紹介	鹿児島医療技術専門学校で養成している医療職種（看護師・介護福祉士・診療放射線技師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）の仕事内容について紹介します。	講義型	50
リハビリ3職種	2	リハビリテーション 3職種 総合紹介	鹿児島医療技術専門学校で養成しているリハビリ職種（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）の仕事内容について紹介します。	講義型	50
看護師	3	看護学生ってどんな生活を送るの？	「看護学生はどんな勉強をするの？」「実習って何？」「学校生活ってどんなふう？」「国家試験って難しいの？」など、看護学生の生活のありとあらゆることを、楽しく、わかりやすく紹介します。	講義型	50
	4	今日からはじまるナースへの道 ～高校時代に準備しておくといい話～	看護師になるにはどのような勉強が必要か。「看護師に必要な数学・化学・物理・生物」など実際のテキストを通して紹介して、高校時代に準備（学習）しておくべきものについて理解します。	講義型	50
介護福祉士	5	生活をデザインするとは (介護福祉士の役割と専門性)	いくつになっても「好きなように生活したい」誰もがもっている願いを支える介護福祉士の役割と専門性を学び「生活の中の楽しみ」について様々なアレンジをすることで一人ひとりの「生活の楽しさ」とは何かを考える機会を提供します。	講義型	50～100
	6	認知症のケアから学ぶ	認知症とはどのような病気なのか？認知症の人とコミュニケーションを取るためにどのように接すればよいか。人として、相手の気持ちを大切に尊重するとはどういうことなのか。その人の視点に立つことを基本とした人と人との触れ合いコミュニケーションについて考えます。	講義型	50～100
診療放射線技師	7	診療放射線技師職種紹介	鹿児島医療技術専門学校で養成している診療放射線技師の仕事内容について紹介します。	講義型	50
	8	超音波を使って骨の丈夫さがわかります。	人体に害のない超音波を使用し、かかとの骨で骨密度を測定してみましょう。	体験型	50
	9	放射線を測定してみよう	放射線は目に見えません。匂いもありません。放射線の測定器を使って放射線の量を測ってみましょう。	体験型	50
	10	人体の立体画像作成	パソコンを使用し、観察したい臓器だけを抽出したり、立体画像を作成してみましょう。	体験型	50
作業療法士	11	作業療法職種紹介（講義型）	鹿児島医療技術専門学校で養成している作業療法士の仕事内容について詳しく紹介します。	講義型	50
	12	作業療法職種紹介（体験型）	鹿児島医療技術専門学校で養成している作業療法士の仕事内容について職業体験をおりませて紹介します。	体験型	50
	13	作業療法で行う検査体験	医療職種である作業療法士が行う検査（症状を確認する為の筋肉や関節の動き、知覚などの検査）を体験し、病気と症状の関係について学びます。	体験型	50
	14	生活を便利にする作業療法の道具	たとえ障害をもってしまっても「あなたの好きなこと」を諦める必要はありません。工夫次第で障害を補うことができます。それが自助具です。私たち作業療法士は様々な自助具を提案、作成します。また最近ではITを活用した福祉機器等も続々と出てきており、障害者の自律の手助けとなっています。本講義では最先端のリハビリテーション関連機器の紹介や、自助具について学びます。	講義型	50
理学療法士	15	理学療法士職種紹介	鹿児島医療技術専門学校で養成している理学療法士の仕事内容について紹介します。	講義型	50
	16	中高生の傷害予防	成長期や部活動におけるケガの予防について様々な視点から紹介します。	体験型	50
	17	ストレッチの秘密	ストレッチには様々な方法があり、目的によって方法を選択する必要があります。ストレッチは筋肉だけでなく血管や神経などにも良い効果があることがわかっています。実技をまじえながら紹介します。	体験型	50
	18	障害者スポーツと理学療法士の関わり	近年、パラリンピックなどで着目されている障害者スポーツ。この分野にも理学療法士の活躍が期待されています。競技の紹介や理学療法士の関わりについてを講義します。	講義型	50
	19	Inbody測定で自分の身体を知ろう	Inbodyでは体重体脂肪率だけでなく、四肢、体幹の筋肉量、脂肪量まで計測することができます。計測後は各自に紙面に確認してもらい自身のトレーニングや食事面の課題をみつけましょう。	講義型	50
言語聴覚士	20	言語聴覚士職種紹介	鹿児島医療技術専門学校で養成している言語聴覚士の仕事内容について紹介します。	講義型	50
	21	聞こえの体験～聴覚支援機器を使って～	聴覚の支援機器を通して、耳や声、音に対する理解を深めます。	体験型	50
	22	ことばの成長～ことばの発達大公開～	私たちがことばを使えるためには様々な成長が必要です。なぜ、ひとは話せるようになるのか、ことばの発達という視点から説明します。	講義型	50
	23	コミュニケーションテクニク～良好な対人関係を築くために～	コミュニケーションが苦手な人、上手な人、その違いは何でしょう？ちょっとしたテクニクがあると、友人関係、家族関係、職場関係が良くなります。そのコミュニケーションテクニクを演習を通してお伝えします。	体験型	50～100
	24	ことばを使った脳トレ体験	言語機能は脳機能のひとつです。言語機能と脳機能を踏まえ、ことばを使って脳を活性化しましょう。	体験型	50
	25	嚥下（飲み込み・食べる）に対する支援について	「食べる」とは生きるために必要不可欠な行為です。超高齢社会となった今、病気や加齢が原因で「食べる」ことが困難な方が多くなっています。嚥下（食べる）のメカニズムと援助方法について説明します。	講義型	50